H22. 1. 31 北羽新報　第3種郵便物認可

少ポスス 総合型SCとの連携提言

県・郡市研修会 地域とのかかわり探る

第26回県スポーツ少年団総定員研修会(県北)兼能代市山本郡スポーツ少年団連絡協議会研修会は30日、三種町の山本ふるさと文化館で開かれた。参加者は講演や研究協議を通して先進地域の事例を参考にしながら、スポーツ少年団活動の在り方や地域とのかかわりについて考えた。

スポ少指導者、母集団の資質向上をはじめ、充実した団活動を図るために毎年開催。能代山本のスポ少総定員を中心に約70人が参加した。

講話では、群馬県高崎市の新町スポーツクラブチームクラブマネジャーの小出利一さんが「今なぜ総合型スポーツクラブか～スポーツ少年団とスポーツクラブの関わり方について～」と題して講演した。

小出さんは幼少期からスポ少活動に携わり、昭和48年にスポ少のリーダーを育成するシニアスクールを修了。同年には群馬リーダー会を設立した。9年には、日本版からスポーツ少年団を核とした総合型地域スポーツクラブ育成モデル地区の指定を受け、先進地区としてメディアにも広く取り上げられている。

はじめに、幼少時から活発な子ども と非活発的な子どもの二極化が進んでいる現状を説明。その上で、スポーツ少年団組織の模範になったドイツの青少年層のスポーツクラブ「スポーツユーゲント」を話題にし、スポ少の定義や理念を確認した。

中でも団員は小学1年から指導者が対象であることを強調し、今後のスポーツ少年団も本家・ドイツの在り方に近づく必要があることを指摘した。

また、自らの活動として新町SVCスポーツ少年団を核とした新町スポーツクラブの組織図や、ドイツや沖縄県との交流活動などの実践例を紹介。小学生から高校生以上まで所属し、年齢が上がるにつれてリーダーや指導者を務めていく同クラブのサイクルを説明しながら「団体が継続するために必要なのは人材育成」と強調した。

最後に「スポ少も総合型地域スポーツクラブも同じ目的を持って活動している。互いに助け合って持っている機能を最大限に生かせば、相乗効果は必ず生まれる」と呼び掛けた。

その後、「地域コミュニティ再生への挑戦」をテーマに研究協議を開催。三種町スポ少本部長の田中忠夫さんがコーディネーターを務め、琴丘小校長の牧野三千夫さん、常盤の重スポーツクラブの山崎一彦さん、二ツ井きみまちスポーツクラブの村岡明正さんが話題提供した。

スポ少活動の在り方について考えた研修会

満原、長谷川(能代工高)選出

バスケットボール 5日から1次キャンプ

日本バスケットボール協会は、5日から始まるバスケットボール男子の育成キャンプの参加選手を発表、能代工高出身の満原、長谷川の2人が選出された。

男子選手の個の強化を図り、将来の日本代表候補選手になりうる選手のレベルアップを図ることを目的とし、1次キャンプは2月5日から7日まで東京都・味の素ナショナルトレーニングセンターで実施され、大学生から高校生までの計40人が選出された。キャンプは3月の第5次まで行われ、満原は1、98年、ポジションはセンターフォワ

全国学

NHK
水沢小

会大賞を受賞した。また、同町の境川小も特別賞に輝いた。

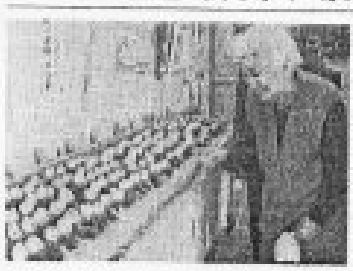
が寄せられ、能代山本では大会大賞1人、特選3人、秀作2人、入選9人

られている。互いに助け合って持っている機能を最大限に生かせば、相乗効果は必ず生まれる」と呼び掛けた。

その後、「地域コミュニティ再生への挑戦」をテーマに研究協議を開催。三種町スポ少本部長の田中忠夫さんがコーディネーターを務め、琴丘小校長の牧野三千夫さん、常盤の重スポーツクラブの山崎一彦さん、二ツ井きみまちスポーツクラブの村岡明正さんが話題提供した。

寅年にちなむ力作ずらりと

おとも苑で



能代市旭峰ノ沢の高齢者交流センター・おとも苑で、生きがい活動支援サービスの利用者がつくった「寅の置物作品展」が開かれ=写真、一つ一つの表情に個性あふれる作品が訪れる人たちの関心を集めている。来月6日まで。

同施設では、能代山本の高齢者(60～98歳)が健康講話、理学療法などを通じた支援サービスを受けており、昨年からその利用者がえとにちなんだ置物をつくっている。

今回は松ぼっくりと紙粘土で作った虎の作品約200点が並ぶ。「虎いい」との思いから「幸福寅」と名付けた。利用者は「かっこいい」「いっぱい並んできれい。顔を見ると幸せを感じる」などと話して観賞していた。

今日の運勢

松山帝佳

月31日(日) 仏滅

○吉　△凶日　！注意日
の神秘日(基本的には凶だが一転大吉の可能性も)

○ 直感をすぐに伝えず裏付け取って。強(印象付けてさらに迷風。

○ 特技生かして個性アピールしよう。良い縁生まれる可能性あり。

○ 夢を持つ事が動くきっかけになる。ためたエネルギー発散して。

！ スランプ脱出の作戦練ろう。心地良いと感じる事から手掛けて。

★ こだわり過ぎると動けなくなる。心のリセット大切に考えよう。

！ 急下降しても底に着けば再上昇する。古傷に縛られず動こう。

◎ 強勢強る事は無用な日。優しさ存分に発揮して信頼獲得しよう。

◎ ポイントやサービス券を有効活用。得する方法を選び蓄積して。

○ 柔軟な心でチャンスを拾おう。好機を逃がさずチャレンジして。

能代山本PTA連教育懇談会

7日

能代市山本郡PTA連合会(相沢純一会長)の教育懇談会は、7日午後2時から同市海詠坂の能代山本広域交流センターで開かれる。

PTAと教育委員会関係者が意見交換し、情報を共有して子どもたちの教育環境の向上を図ることが狙い。テーマは「子どもが何歳になったら携帯電話を持たせますか。持たせましたか」。

前半のグループ討論では小中学校の代表者が各校2～5グループに分かれて意見交換。後半の全体討論では各グループで話し合ったことを発表する。また、県教育庁生涯学習課の糸田和樹社会教育主事が有害図書について情報提供する。

ボウリング

森岳ボウル社長杯(28日・8G)

①近藤昭実=579P
②金良太郎=567P
③小松茂見=561P

コカコーラ杯(28日・能代スポーツセンター、4G)

①川村佳子=625P
②青柳哲郎=611P
③小山功=889P